

県医師連盟機関紙

第14号

発行責任者  
県医師連盟委員長 池田琢哉

平成25年5月31日

# 鹿児島県医師連盟新聞

編集・発行  
鹿児島県医師連盟  
鹿児島市中央町8-1  
電話 099-213-1011  
FAX 099-213-1012  
印刷 南日本新聞開発センター

## 全力で尾辻氏、羽生田氏を支持 (選挙区) (比例区)

### 7月の参院選近づく

参議院議員選挙が近づいてきた。7月4日公示、同月21日投票が有力となっているが、この選挙に自民党公認で元厚生労働大臣の尾辻秀久氏が鹿児島選挙区からの立候補を表明。鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長)は昨年の9月24日、いち早く尾辻氏の推薦を決定して、郡市医師連盟などと連携をとりながら、支持活動を積極的に展

#### 尾辻氏、「大差」での勝利を

鹿児島選挙区から出馬する尾辻氏に関して、福祉の分野に精通しておられ、厚労相も務められた。政

を公認候補予定者に決定。数

開中だ。また、比例代表では、日医副会長の羽生田たかし氏を推薦している。選挙区の尾辻氏は他候補に大差をつけての勝利を、比例区の羽生田氏は大量得票での上位勝利をめざして更なる浸透を図る構え。池田委員長は「今回の選挙は、医師連盟の威信をかけた戦いだ」と決意を語っている。

その後自民党鹿児島県連内で候補者の調整が行われた結果、ことしの2月2日尾辻氏

日後、自民党の公認候補に正式に決まった。尾辻氏は72歳。県議を経て、1989年参院選挙の比例代表で初当選。これまで財務副大臣、厚生労働大臣などを歴任した。そのあと2010年から昨年末まで参議院の副議長を務めた。今限りで勇退する加治屋義人議員の後を受

#### 羽生田氏、「正位」で国政へ

比例区では、自民党公認で日医副会長の羽生田たかし氏を推薦しており、県医連の池

#### 一丸となって戦おう

県医師連盟委員長 池田琢哉

7月の参院選挙は、県医連がどれだけ力を発揮できるかの試金石になると考えます。国の医療政策に我々の声を反映

させるためにも、尾辻先生、羽生田副会長の勝利のためにがんばりたいと思っております。尾辻先生は厚生行政、医療に精通しておられ、TPPにも反対の立場をとっておられる。またこれまでがん対策基本法の制定や、障害者自立支援法の制定に尽力してこられました。なんとしても国政に

羽生田氏の政策の柱は「国民皆保険の堅持と発展」「地域医療の再興」「医師が安心して医療提供できる環境づくり」。

送りださなければなりません。羽生田氏は日医の政策に精通しておられ、国政の場で十分力を発揮されると期待しております。日医連も今回は組織が一枚岩になりました。横倉委員長も言っておられるように、威信をかけての戦いでもあります。必ず上位で勝利するよう努力する所存です。会員の皆様には、友人や知人にも声をかけていただき、県医連が一丸となって戦い抜く



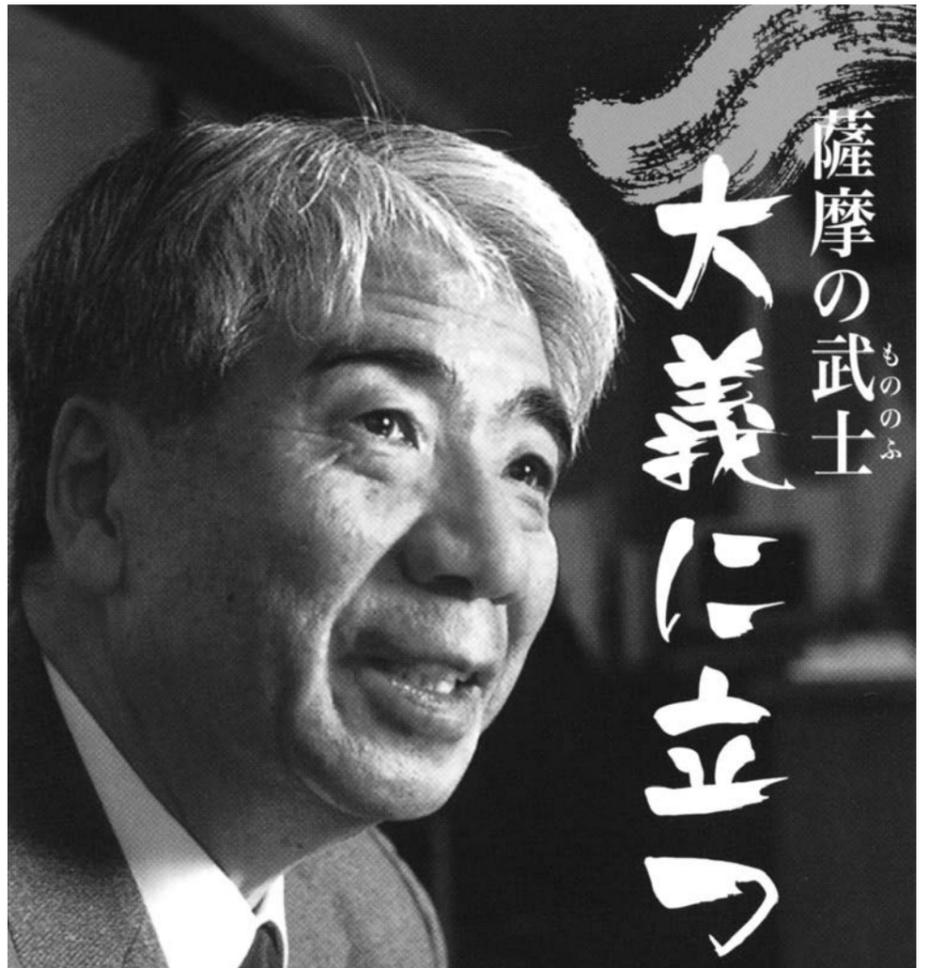
すべての人にやさしい医療を。

大義に立つ。



送

送



## すべての人にやさしい医療を

## 虫の眼をもって政治活動

私は、40年にわたり、医師として医療の現場に携わってきました。そこで、誰もが安心して医療を受けられることの大切さを心から実感しました。日本の医療制度が揺らぎはじめている今だからこそ、日本の医療を、そして国民の皆さまを守りたい。その想いを胸に、よりよい社会づくりに努めてまいります。

政治家は全体をみる鳥の目と細かいところをみる虫の目が必要だが自分は虫の目を持って政治活動にのぞむ。光のあたらないところに光を当てたい。

- 安心して医療が受けられる社会を創ります  
誰もが、いつでもどこでも、最良の医療を受けられるように。国民皆保険体制を守り、国民が必要とする医療を、最適なかたちで受けることのできる社会をつくります。
- 地域に密着した医療を創ります  
身近で、暮らしと強く結びついた地域医療を目指して。高齢社会をふまえ、それぞれの地域に応じた保健・医療・介護体制の整備を実現します。
- 信頼関係を基盤とした医療環境を創ります  
皆さまが、もっと安全な医療を受けられるように。医療事故の原因究明と再発防止を徹底し、医療従事者が安心して働ける環境をつくります。
- 被災地の方々の健康保持にも努めます  
東日本大震災で被災され、今なお仮設住宅等でご不便な生活を強いられている皆さまへの医療提供体制の充実と、医療従事者の皆さまへの支援を被災者健康支援連絡協議会事務局長としての経験を生かし進めます。

- 平和な国  
・初心を忘れず、恩を忘れず、いつまでも「ご英霊(国のために亡くなった方)の心を心として」平和な国を護ります。  
・調和のとれた社会が理想です。  
国と地方、政と官と民、共にぎすぎすしないように「和をもって尊し」とします。
- 生涯現役社会の実現  
・健康寿命(健康にいきている年齢)を85歳(女性の平均寿命)に引き上げられるように、がん対策、生活習慣病対策、自殺対策、運動器健康維持対策など、保険と医療の充実・促進に努めます。  
・定年制の廃止を目指します。
- ユニバーサル(共生)社会の実現  
・人間一人ひとりが、尊厳を持って生きることのできる社会づくりをいたします。  
・みんなが「誇りと役割を持って生きていくことの大切さ」を実感できる社会を目指します。  
・「機会均等社会」にします。生まれや育ちでスタートラインに差があってはけません。  
(3歳で父を亡くし、20歳で両親を失った私の痛切な思いです)
- 心と体に優しい国  
・「食育」は、個々の健康のためにも、美しい家庭を守るためにも重要なことです。「食育」という日本の伝統を大切にします。
- 子供は日本の宝  
・産みやすい環境をつくることももちろん大切ですが、産まれてきた子どもを大切に育てることが最優先の少子化対策であると考えています。  
そのために保育所の役割はますます重要です。保育制度を死守します。  
・地域全体による子育て、教育は薩摩の文化・伝統です。
- 社会保障の拡充  
・日本の宝である国民皆年金(みんなが年金に加入している)制度と皆保険(みんなが医療保険証を持っている)制度は、どんなことがあっても守っていきます。  
・負担された保険料は、全て年金給付につながるようにします。  
・国民負担率(収入のうち、公的保険の保険料を含めて税金を納める割合)を50%にして、弱者に優しい国にしたいと考えています。  
・「消費税を上げ、その分を福祉に使う目的税にすべき」が私の持論です。

**羽生田たかし君を励ます会**

・日時 平成25年6月25日(火)19:00  
・場所 鹿児島県医師会館4階大ホール

**おつじ秀久医療関連団体総決起大会**

・日時 平成25年7月17日(水)19:00  
・場所 鹿児島県医師会館4階大ホール

**個人名で投票を**

比例代表の選挙では、「政党名」もしくは「個人名」で投票します。政党名の投票者数とその政党の属する候補者への個人名での投票数を合計し、その投票数に応じて各政党への議席配分が決まります。その議席配分から「個人名」での投票数の多い順に当選者が決まります。候補者の政策などを吟味して、ぜひ個人名での投票を。